

和日館木種

しゅもくかんびより ◆ 第二十五号



しゅもくかん
文化のみち種木館
Cultural Path Shumokukan

発行日:2022年3月31日

発行:文化のみち種木館

指定管理者:特定非営利活動法人種木倶楽部

生き、ていく館

文化のみち種木館は、陶磁器貿易商として活躍した井元為三郎が、大正末期から昭和初期に建てた邸宅です。古い建物が壊されていく中、多くの人々に守られ、長い年月とともに、「修繕」という歴史を積み重ねることができたこの館は、令和からこの先の新しい時代とともに、これからも生き続けていくことでしょう。



和館:鯉張(ささらこ鯉)妻板戸袋

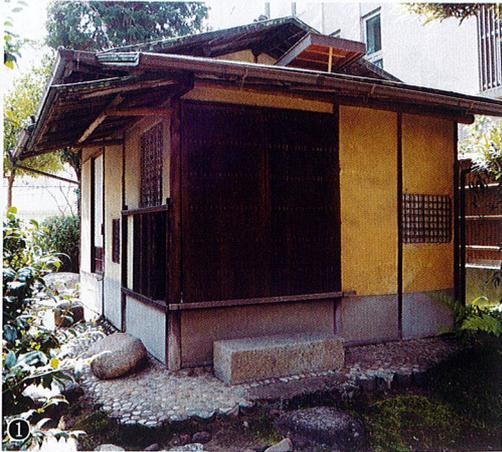
和館:立板張の雨戸

「檜木館の雨戸と戸袋」

NPO法人檜木倶楽部理事 伊藤喜雄

時代の移り変わりとともに、木製の雨戸が取り付けられた家は、めっきり見かけなくなりましたが、檜木館ではそんな雨戸が様々な型で残っています。

茶室では、天窗の突上戸のほか(写真①)、側面の窓には掛雨戸といって、普段は茶室の西面に収納されていますが、使用する際は、各窓の上にある金具に雨戸を引っ掛け、窓を上からスッポリ覆う形で使用します。



茶室



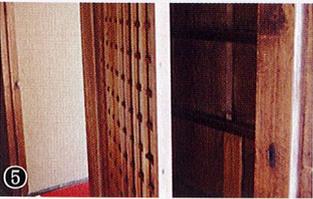
茶室:室内から見た突上戸



茶室:掛雨戸置き



和館:立板張の雨戸



和館:戸袋の開戸



和館:開戸横猿(隠施錠)



和館:繰出窓



和館:鏡板柱立戸袋



和館:鍔張(ささらこ張)妻板戸袋

和館では、和室の南北の廊下に、縦板張の雨戸が並びます。こちらは、敷居の溝の上をスライドさせて動かします。ふすまの動きに似ていますが、こちらは溝が一本しかない「一筋敷居」となっています。

和館の雨戸は「戸袋」と呼ばれる収納場所に収納されています。戸袋は7つ設置されており、6つの戸袋が「鍔張」(写真②)という、複数の板を階段上に組み合わせたものなに対して、和室1の南側の戸袋だけは、外板に1枚板を使用し、戸袋本体は束柱で支えられています(写真③)。これは、和室1が、かつて客間として使用されていたため、他と比べて格上の意匠としたものと推察されます。戸袋から雨戸を取り出すには、家の内側にある「繰出窓」(写真④)を開き、内側から1枚ずつ取り出します。繰出窓は横長のものが殆どですが、唯一、和室1の東側のものだけは、雨戸と同サイズの縦長の開戸(写真⑤)となっています。普段は「猿」(写真⑥)という細木の留め具で閉じられていますが、この猿を左に動かすと、つかいが外れて開く仕組みです。猿は雨戸にも使われており、猿を上方向に動かすと、鴨居に彫られた穴にはまって、雨戸は動かなくなります。この雨具を固定する仕組みは、防犯上の機能も兼ねていました。

見かけることが少なくなった雨戸ですが、家屋を守ってきた大事な建具として、その意匠や趣をゆっくりとご覧いただきたいと思います。

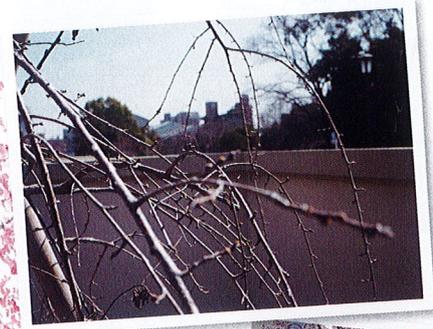
文化のみちは桜とともに

令和3年3月に榎木館南側の耐震工事が終わり、庭園に植えられた苗木の枝垂桜(しだれざくら)がつぼみをつけ始めました。

その昔、江戸時代に、現在の榎木館の南側にあった鈴木屋敷には、尾張家中一と言われた枝垂桜がありました。その見事な美しさを求めて多くの人が花見に来ていたと思われま

鈴木仁左衛門屋敷の枝垂桜

江戸時代、片端坂上の鈴木仁左衛門(200石)屋敷内の「枝垂桜」は大樹で、家中第一番と評判になり、寛政(1789~1801)の末頃に、この評判を聞いた八代尾張徳川宗勝の六男松平掃部勝長が、鈴木屋敷を遊覧して見事な枝垂桜を賞賛した(参考文献:名古屋史 地理編「連城亭(小寺玉泉)随筆」とあります。鈴木屋敷は、榎木館南側の名古屋コーチンを作った海部荘平(120石・正秀(80石)兄弟の海部屋敷の南隣で、山吹小学校と山吹公園の間の南側になり、現在は、名古屋市営山吹荘と外堀通りになっています。毎年、春になると山吹小学校は、ソメイヨシノや八重桜が満開を迎え、見事な景観を楽しませてくれます。榎木館の枝垂桜も年月を重ね、やがて文化のみちの美しい桜の景観としてなじみ深い風景としていこう。



榎木館庭園に新たに植えられた枝垂桜



山吹小学校満開のソメイヨシノ



尾張名所図会:山吹谷花見風景

東側塀の修繕工事を おこないました



南側塀に続き、東側塀、アーチ門の修繕工事がおこなわれました。真新しいコンクリート塀に生まれ変わり、新しい花壇が生まれました。



修繕風景

令和3年度催し物暦

(10月~3月)

10/14(木)~26(火)
伊勢型紙×
春夏秋冬Ⅱ展

2/5(土)
3/6(日)
榎木館の
かわいいお雑様



10/28(木)
「榎木館フォーラム
2021」

2/26(土)
榎木館
お箏のコンサート



文化のみち榎木館では、館主催イベントをはじめ、貸室利用によるイベントを年間通しておこなっています。当館では和室・洋室・茶室・蔵・庭をお貸しします。詳しくは下記の電話番号、ファックス番号へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。